

## 新上五島警察署協議会第1回会議議事概要

日 時	令和5年1月27日（金）13時25分～15時15分
場 所	新上五島警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 田島会長 江川委員 小原委員</p> <p>2 警察署 岡田署長 田口副署長 山口刑事生活安全課長 木庭地域交通課長 警務係長</p> <p>3 書 記 警務係長</p>
会 議 の 状 況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 副署長から、前回協議会における提出意見である「警察広報活動の推進」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 広報用ポスター（塗り絵）施策について</p> <p>ア 交通事故やニセ電話詐欺被害防止、各世代の防犯意識高揚を目的として、県警察マスコット、新上五島警察署マスコット、新上五島町マスコットを採用した塗り絵型の広報用ポスターを作成した。</p> <p>イ 管内10か所の幼稚園・保育園の園児に色付けしてもらい、完成した200枚以上のポスターを新上五島町に寄贈し、役場や各フェリーターミナルに掲示した。</p> <p>ウ 原画の塗り絵についても新上五島町へ提供し、役場受付で広報用資料として利用されている。</p> <p>(2) 「110番の日」に伴う広報活動について</p> <p>ア 管内の各駐在所が毎月発行しているミニ広報紙に「110番の日」に関する記事を掲載して、各世帯へ配布した。</p> <p>イ 110番制度や年間の受理件数などを掲載した「しんかみ110番だより」を発行して、各フェリーターミナル、スーパーマーケットなどに掲示した。</p> <p>ウ 新上五島町などの広報誌に「110番の日」に関する記事を掲載して、町民への広報を実施した。</p> <p>(3) 新上五島警察署公式 Twitter の投稿について</p> <p>ニセ電話詐欺や交通事故に関する注意喚起のほか、犯罪被害者支援や部外表彰、保育園児などの来庁状況などの投稿を実施した。</p> <p>(4) 体験型イベントの実施について</p> <p>ア 令和4年10月26日、10月27日の両日、新上五島町と小値賀町において、長崎県と合同で、高齢者の交通事故防止を目的とした「高齢者おっと危ない講習会」を実施した。</p> <p>イ 令和4年11月14日、長崎県立中五島高校において、自転車の乗車方法や点検方法に関する体験型の交通安全教室を実施した。</p>

ウ 令和4年11月16日、有川幼稚園において、横断歩道横断時の手の挙げ方や渡り方に関する体験型の交通安全教室を実施した。

2 令和4年10月から12月までの業務重点推進結果について

刑事生活安全課長及び地域交通課長から、次のとおり説明があった。

(1) 年末期における各種犯罪抑止対策の強化

ア 地域安全パトロールを実施

イ 新上五島町教育委員会へ防犯ハンカチを贈呈

ウ 登校時の見守り活動を実施

エ 小学校、特別養護老人ホームにおける不審者対応訓練を実施

オ 放置廃船対策合同パトロールを実施

カ 各種防犯キャンペーンを実施

キ 防犯活動功労者への感謝状贈呈

(2) 年末期における各種事故防止対策の推進

ア 飲酒運転根絶に向けた諸対策の推進

(ア) ハンドルキーパー啓発活動を実施

(イ) 自治体や企業における交通安全講話を実施

イ 街頭における「見せる警戒」の強化

(ア) 新上五島町役場などと合同で車両パレードを実施

(イ) 街頭における交通安全広報活動「さわやか作戦」を実施

(ウ) 地域交通課員などによる交通安全立しよう活動を実施

(エ) フェリー検問、早朝薄暮時のレッド走行を実施

3 業務重点推進計画について

署長から、次のとおり説明があった。

(1) 各種防犯対策の推進

(2) 交通事故防止対策の推進

4 令和5年上半期速度取締りの指針について

地域交通課長から、次のとおり説明があった。

(1) 新上五島警察署の速度取締り重点

(2) 新上五島警察署管内における交通事故実態

ア 令和4年中人身事故多発地域

イ 時間帯別交通事故発生状況

ウ 令和4年中人身事故の発生原因等

(3) その他交通指導取締りの要点

5 令和5年新上五島警察署業務運営重点について

署長から、令和5年における新上五島警察署業務運営重点について、次のとおり説明があった。

(1) 犯罪から県民を守る総合的な取組の推進

(2) サイバー空間の脅威への的確な対処

(3) 悪質・重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進

(4) 交通死亡事故・重傷事故抑止対策の推進

	(5) 治安情勢の変化や緊急事態への的確な対処 (6) 活力に満ちた魅力ある職場環境の確立
提 出 意 見	○ 児童に対する防犯・交通教育の推進について 今四半期は、新入学期となることから、実際に身に付く方法で防犯教室や交通安全教室を実施するなど、児童に対する防犯・交通教育を推進してもらいたい。